

令和7年度経営発達支援事業管理表<小国町商工会>

事業名	事業内容	目標	成果等	評価内容
1)地域経済動向調査	①地域の経済動向分析	年1回	1回(地域経済分析システムサイトのHP掲載)	目標に沿った成果として評価され、引き続き取り組む。
	②小規模事業者の景況調査	年1回	1回(キャッシュレス事業アンケートを実施し事業者説明会や会報で周知)	
2)需要動向調査	①町内ニーズ調査	年10者	47者(キャッシュレス事業関係アンケート実施)	町内ニーズ調査のフィードバック方法として、事業者報告会で分析結果を提示し活用を促したほか、商工会報で他の事業者にも参考とすべく結果を公表した点が評価され、今後のキャッシュレス事業に活かす。
	②町外ニーズ調査	年10者	12者(道の駅産直フェアに係る町外ニーズ調査)	
3)経営状況分析	①経営分析事業者の発掘	年20者	12者(補助金1、マル経2、事業承継4、専門家派遣2、創業3)	マル経融資はコロナ前と比較して低調である中、分析の有力な切り口として金融面から発掘機会に期待する旨の意見を受け、今後の分析支援に活かす。
4)事業計画策定支援	①DX推進セミナーの開催	年1回	1回(キャッシュレスを活用した価格転嫁セミナー7/16)	物価高騰の影響を受け価格転嫁が課題となっていることから、事業者の経営改善に期待する旨の意見を受け、今後の策定支援に活かす。
	②事業計画策定セミナーの開催	年1回	3回(価格転嫁セミナー7/16、BCPセミナー10/15、経営革新塾11/11、19、26、12/2)	
	③事業計画策定事業者の支援	年12者	6者(補助金1、マル経2、創業3)	
5)事業計画策定後の実施支援	①フォローアップの実施	年12者	6者(補助金1、マル経2、創業3)	売上利益増加先の実績が1者に留まった理由として、創業者に対比がない部分と厳しい経営環境を受け落ち込みとなった部分を理解いただき、引き続き、売上利益増加に向けたフォローにあたる。
	②フォローアップの頻度	年36回	37回	
	③売上増加又は利益増加の把握	年6者	1者(売上増加T103%、利益増加T126%)	
6)新たな需要開拓	①展示会等の参加支援	年3者/10万円	1者/42万円(ニッポン全国物産展11/21~23)	数年ぶりに展示会等の参加支援に至ったことへの評価を受けたが、その他の支援は目標値に足りず、今後期待する旨の意見があり、引き続き、需要開拓支援の底上げを図る。
	②SNSの活用支援	年3者/10%	3者(売上M137%、H70%、Y114%)	
	③ECサイトの活用支援	年3者/10%	1者(売上M137%)	
	④ネットショップの開設支援	年3者/10%	1者(売上M137%)	
7)事業評価及び見直しの仕組み	評価委員会による評価検証	年1回	1回(事業評価検討委員会3/10)	目標に沿った成果として評価され、引き続き取り組む。
8)経営指導員等の資質向上	①外部講習会等の活用	スキル向上	4回(価格転嫁セミナー7/16、BCPセミナー10/15、年取の壁セミナー10/29、経営革新塾11/11、19、26、12/2)	目標に沿った成果として評価され、引き続き取り組む。
	②OJT制度の導入	スキル向上	34回(広域指導員との連携)	
	③職員間の定期ミーティング	毎月1回	12回(月例会議)	
	④データベース化	カルテ入力随時	支援随時(経営カルテ整備による蓄積)	
9)他支援機関の連携と情報交換	①西置賜広域推進会議の参加	連携強化	12回(西置賜広域連携協議会事業と個者支援に対する情報共有化)	特に金融懇談会は情報交換として有意義な機会であり、また、日ごろ事業者支援に対する連携を行っている面に評価を受け、引き続き、関係機関との情報交換、連携強化に取り組む。
	②置賜商工振興懇談会の参加	連携強化	1回(置賜商工振興懇談会研修会12/15)	
	③マル経協議会の参加	連携強化	1回(マル経協議会7/2)	
	④小国町金融懇談会の開催	連携強化	1回(金融懇談会3/10)	
10)地域経済の活性化	①中心市街地活性化の支援	連携強化	中心市街地活性化計画(R6.3.26認定)/アスモ運営支援	各取り組みの連携については一定の評価として理解を得、引き続き、商工観光行政をはじめ、金融機関等の連携強化により地域経済活性化の一助とする。
	②魅力発信事業の推進	連携強化	7者(春イベント3者、夏イベント2者、冬イベント2者)	
	③白い森まるごとブランドの推進	連携強化	地域総合商社との連携(取引支援、商談会調整)	